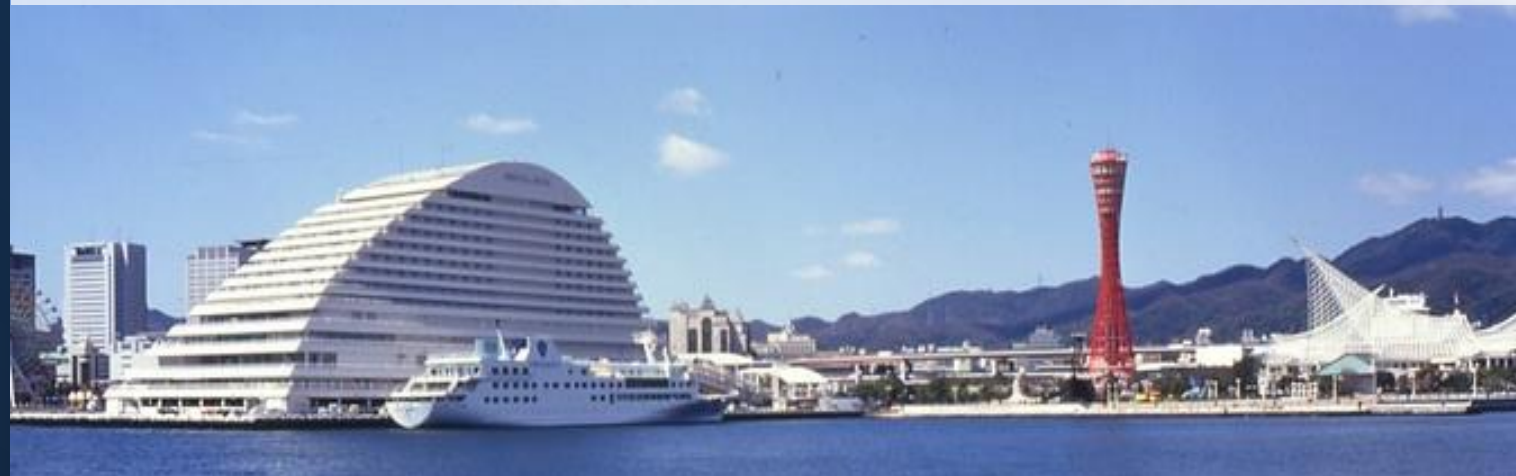


Bible Forum in KOBE

~KOBE MOTOMACHI Bible Forum~



~KOBE Bible Forum~



ニックネーム
KBF(神戸ビーフ)
KMBF(コンビーフ)

第9回

神戸元町聖書フォーラム

クレイ聖書解説コレクション
「ヨハネの黙示録」講解メッセージ
黙示録19章

2016/9/24(土)

お願い！

このパワーポイント資料は

Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子版か紙版テキストと合わせて
必ずご参照・ご活用下さい！

*神戸聖書フォーラムでまとめ買いしております。
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

全体構造理解の大前提！

ティスペンセーションリズム

定義「ティスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経緯（時代・時代区分）

- (1) 聖書を字義通りに解釈
- (2) イスラエルと教会を一貫して区別。
神がユダヤ民族と
アブラハム契約を結ばれたこと
それが永遠の契約であることを認める。
- (3) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を超越した永遠の秩序 黙21:1 ~22:5
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~	
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10	
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア	
1. エデン契約 聖書箇所	→							
2. アダム契約 聖書箇所		【2】						
3. ノア契約 聖書箇所			【3】					
4. アブラハム契約 聖書箇所				【4】				
5. モーセ契約 聖書箇所					【5】			
6. 土地の契約 聖書箇所						【6:土地】		
7. ダビデ契約 聖書箇所							【7:子孫】	
8. 新しい契約 聖書箇所							【8:祝福】	

・創1:26~31・創2:16~17

・創3:14~19

・創9:1~17

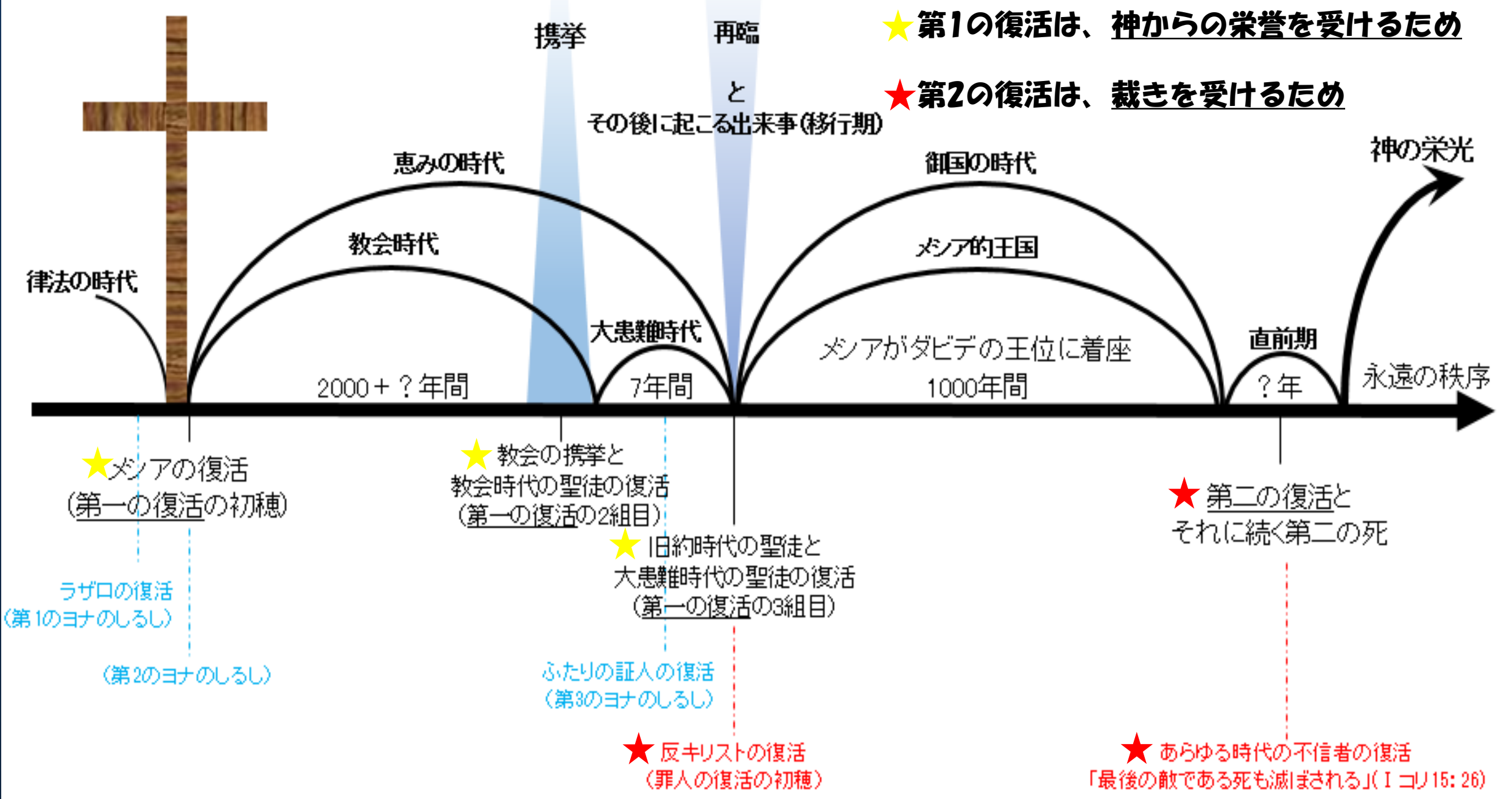
・創12:1~3 ・創12:7 ・創13:14~17
・創15:1~21 ・創17:1~21 ・創22:15~18

・出19:3~8 ・広くは出20:1~31:18

・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目

・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強調)

・エレ31:31~34



★ 第1の復活は、神からの栄誉を受けるため

★ 第2の復活は、裁きを受けるため

★ メシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★ 教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

★ 旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★ 反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

★ 第二の復活と
それに続く第二の死

★ あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ15: 26)

- 序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
- あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
- I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
- II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
- III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

→ 再臨までのプロセス

天における「ハレルヤ」の声(19:1~5)

56

小羊の婚姻(19:6~8)

57

小羊の婚宴(19:9~10)

58

キリストの再臨(19:11~16)

59

ハルマゲドンの戦い(19:17~21)

60

第9回(9/24) 本日★
クライマックスは再臨

縛られるサタン(20:1~3)

61

4. メシア的王国(20:4~6)

← 第10回(10/29)

5. その後の出来事(20:7~15)

← 第11回(11/26)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

← 第12回(12/24)

結論(22:6~21)

1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかし。アーメン。」

3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。」

黙示録の要点

(1)黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス**(黙1:7)

(2)再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心**(ゼカリヤ12:10)

(3)終末論の出来事の流れ

携拳→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心→メシアの再臨→千年王国

(4)大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的は、**靈的なもの(再臨の阻止)**

(5)執筆経緯は「**迫害の中にいる人々**」と「**教会全体**」への励ましと矯正

「22:7 見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

黙示録のテーマを理解し、主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

そして再臨の条件であるユダヤ人の民族的回心を祈りつつ、教会としての責務を果たしましょう！

ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

1. 福音を伝える ロマ1：16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う ロマ15：25～27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62：1～2 ③イザ62：6～7 ④ロマ10：1

II. 第9回) 黙示録19章アウトライン

(1) 19 : 1~5 「天における「ハレルヤ」の声」

(2) 19 : 6~8 「小羊の婚姻」

(3) 19 : 9~10 「小羊の婚宴」

(4) 19:11~16 「キリストの再臨」

(5) 19:17~21 「ハルマゲドンの戦い」

※20 : 1~3 「縛られるサタン」 : 次回とりあげます !

- ・ サタンの縛り~解放までが御国の時代
- ・ 75日の移行期に起こる9の出来事のひとつ

III. 今後学ぶことの展望(最終回まで)

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

天における「ハレルヤ」の声(19:1~5)

56

小羊の婚姻(19:6~8)

57

小羊の婚宴(19:9~10)

58

キリストの再臨(19:11~16)

59

ハルマゲドンの戦い(19:17~21)

60

縛られるサタン(20:1~3)

61

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

← 本日
← 第9回(9/24) ★

← 第10回(10/29)

← 第11回(11/26)

← 第12回(12/24)

IV. 結論：最終ゴールがイメージできる人の歩みとは

- (1) 私たちは、何のために造られたか？ 私たちの力となるものとは？
- (2) 自分の将来の姿（婚姻、婚宴、祝福と特権）が見えている人とは？
- (3) 再臨されるイメージを真剣に受け止めるならば
- (4) 確かな土台の上に建てられる人生とは？

このメッセージは、再臨とその後にかかる出来事について学ぼうとするものである。

ここからが本論！



黙示録19章

～その1 黙示録のテーマ「キリストの再臨」前半の序曲～

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後起こる出来事(19:1~20:3)



天における「ハレルヤ」の声(19:1~5)

*キリストの再臨の準備

56

*四つの「ハレルヤ」

小羊の婚姻(19:6~8)

57

小羊の婚宴(19:9~10)

58

キリストの再臨(19:11~16)

59

ハルマゲドンの戦い(19:17~21)

60

縛られるサタン(20:1~3)

61

4. メシア的王国(20:4~6)

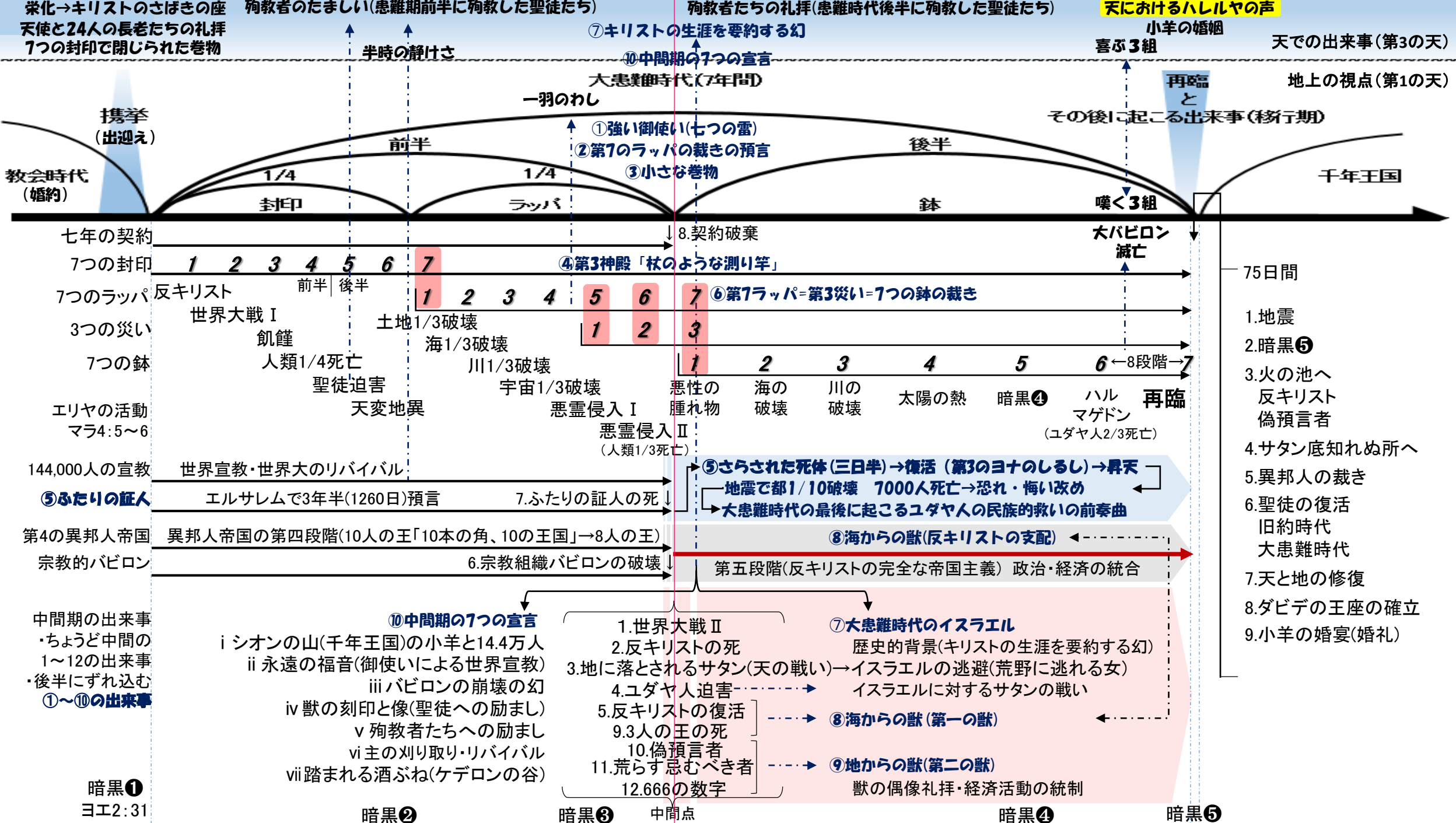
5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

56) 19:1~5 「天における『ハレルヤ』の声」

19:1 この後、私は、天に大群衆の大きい声のようなものが、こう言うのを聞いた。「ハレルヤ。救い、栄光、力は、われらの神のもの。 19:2 神のさばきは真実で、正しいからである。神は不品行によって地を汚した大淫婦をさばき、ご自分のしもべたちの血の報復を彼女にされたからである。」 19:3 彼らは再び言った。「ハレルヤ。彼女の煙は永遠に立ち上る。」 19:4 すると、二十四人の長老と四つの生き物はひれ伏し、御座についておられる神を拜んで、「アーメン。ハレルヤ」と言った。 19:5 また、御座から声が出て言った。「すべての、神のしもべたち。小さい者も大きい者も、神を恐れかしこむ者たちよ。われらの神を賛美せよ。」



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

{1}大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

{2}大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

{3}大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

{4}反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)



天における「ハレルヤ」の声(19:1～5)

56

小羊の婚姻(19:6～8)

*第四の「ハレルヤ」

57

*花嫁の用意は整った

小羊の婚宴(19:9～10)

58

キリストの再臨(19:11～16)

59

ハルマゲドンの戦い(19:17～21)

60

縛られるサタン(20:1～3)

61

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

57) 19 : 6~8 「小羊の婚姻」

19:6 また、私は大群衆の声、大水の音、激しい雷鳴のようなものが、こう言うのを聞いた。「ハレルヤ。万物の支配者である、われらの神である主は王となられた。19:7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。小羊の婚姻の時が来て、花嫁はその用意ができたのだから。19:8 花嫁は、光り輝く、きよい麻布の衣を着ることを許された。その麻布とは、聖徒たちの正しい行いである。」

ユダヤ式婚姻・婚宴

第3の天

キリストの裁きの座

聖化の完成
(栄化)

③小羊の婚姻

②出迎え

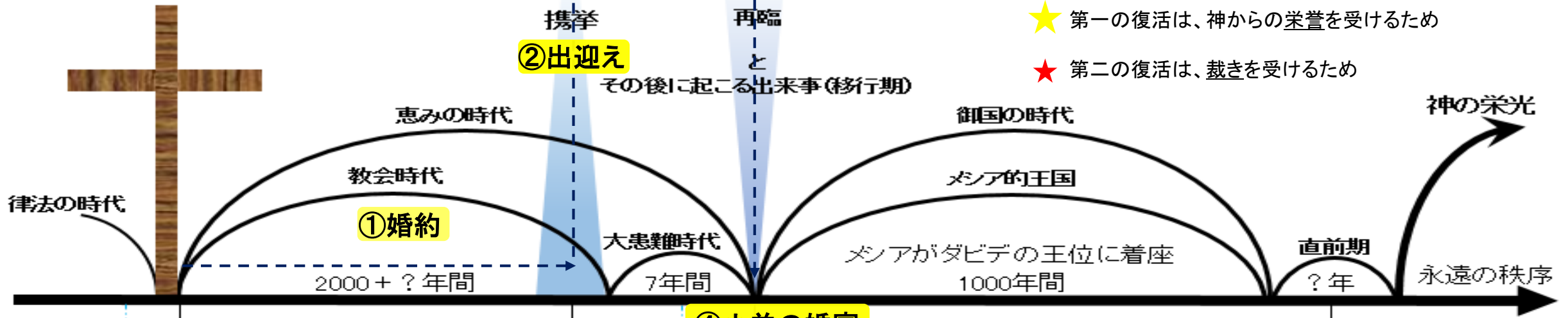
携挙

再臨

その後起こる出来事(移行期)

★ 第一の復活は、神からの栄誉を受けるため

★ 第二の復活は、裁きを受けるため



★メシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★ 教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

④小羊の婚宴

★ 旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★ 反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

★ 第二の復活と
それに続く第二の死

★ あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ15: 26)

	ユダヤ式婚姻	小羊の婚姻(キリストと教会)	聖句
第1段階	<ul style="list-style-type: none"> ・婚約:双方の親によって婚約がなされる場合が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・教会はキリストの死と復活を通して、花嫁として地上に誕生した ・教会時代は婚約期間中で 花婿(キリスト)による出迎えを待っている。 ・人は御霊によって新生し、教会にバプタイズされることによってこの祝福に与える者とされる。 	エヘ5:25-27
第2段階	<ul style="list-style-type: none"> ・花婿による出迎え: 婚礼の直前に花婿が花嫁の家に出向き、花嫁を自分の家に連れ帰る。婚約と婚礼の間には、数年、長い場合は10数年の間隔がある。 出迎えのタイミングは、花婿の父が「場所の備え」が出来ていることを確認し決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・擗季:花嫁である教会が擗季される時に実現 (大患難時代の前) 信者は「キリストのさばきの座」で報奨のための裁きを受け聖化が完了し婚姻に備える。 	II コリ5:10 I コリ6:10~15
第3段階	<ul style="list-style-type: none"> ・婚礼:家族や親族だけの小人数で執り行われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小羊の婚姻:キリストの再臨直前に天で行われる。 	黙19:6~8
第4段階	<ul style="list-style-type: none"> ・祝宴: 婚礼の後、友人を招いて大規模な祝宴が開かれる 長い場合は7日間程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・小羊の婚宴:再臨の直後に地上で行われる。 この婚宴は、千年王国の開始を告げるものとなり多くの人たちが参加する。 ※この時点で生きているものは皆、信者 ※教会時代の聖徒たちはキリストの花嫁で キリストの再臨時に復活する旧約時代の聖徒 大患難時代の聖徒たちが婚宴の招待客となる。 	黙19:9~10 ヨハ3:27~30

キリストのさばきの座

～パウロが告白する希望～

～「主に喜ばれること」「主の前での清算」～

～最大の関心事であり、それを楽しみにしながら生きていた～

IIコリント5:10

5：10なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現れて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです。

キリストという土台の上に建てる ～賢い建築家（パウロ）の教会建設の秘訣～

1 コリント3:10～15

3：10与えられた神の恵みによって、私は賢い建築家のように、土台を据えました。そして、ほかの人がその上に家を建てています。しかし、どのように建てるかについてはそれぞれが注意しなければなりません。3：11というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。

3：12もし、だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、わらなどで建てるなら、3：13各人の働きは明瞭になります。その日がそれを明らかにするのです。というのは、その日は火とともに現れ、この火がその力で各人の働きの真価をためすからです。3：14もしだれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。3：15もしだれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、自分自身は、火の中をくぐるようにして助かります。

地域教会の存在目的のひとつ ～メシアのみからたである教会を建て上げる～

(1)メシアのみからたとは、普遍的教会

(2)普遍的教会は、地域教会の真の信者から成る

*エペ4：11～16

(3)建て上げるとは、信者たちがみことばを学び
異なった教えに惑わされなくなること。

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

★ 天における「ハレルヤ」の声(19:1~5) 56

小羊の婚姻(19:6~8) 57

小羊の婚宴(19:9~10) 58

*婚宴の場所 58

*婚宴に参加する人たち

*ぎょうの霊想: 恭順と服従の違い

キリストの再臨(19:11~16) 59

ハルマゲドンの戦い(19:17~21) 60

縛られるサタン(20:1~3) 61

4. メシア的王国(20:4~6)

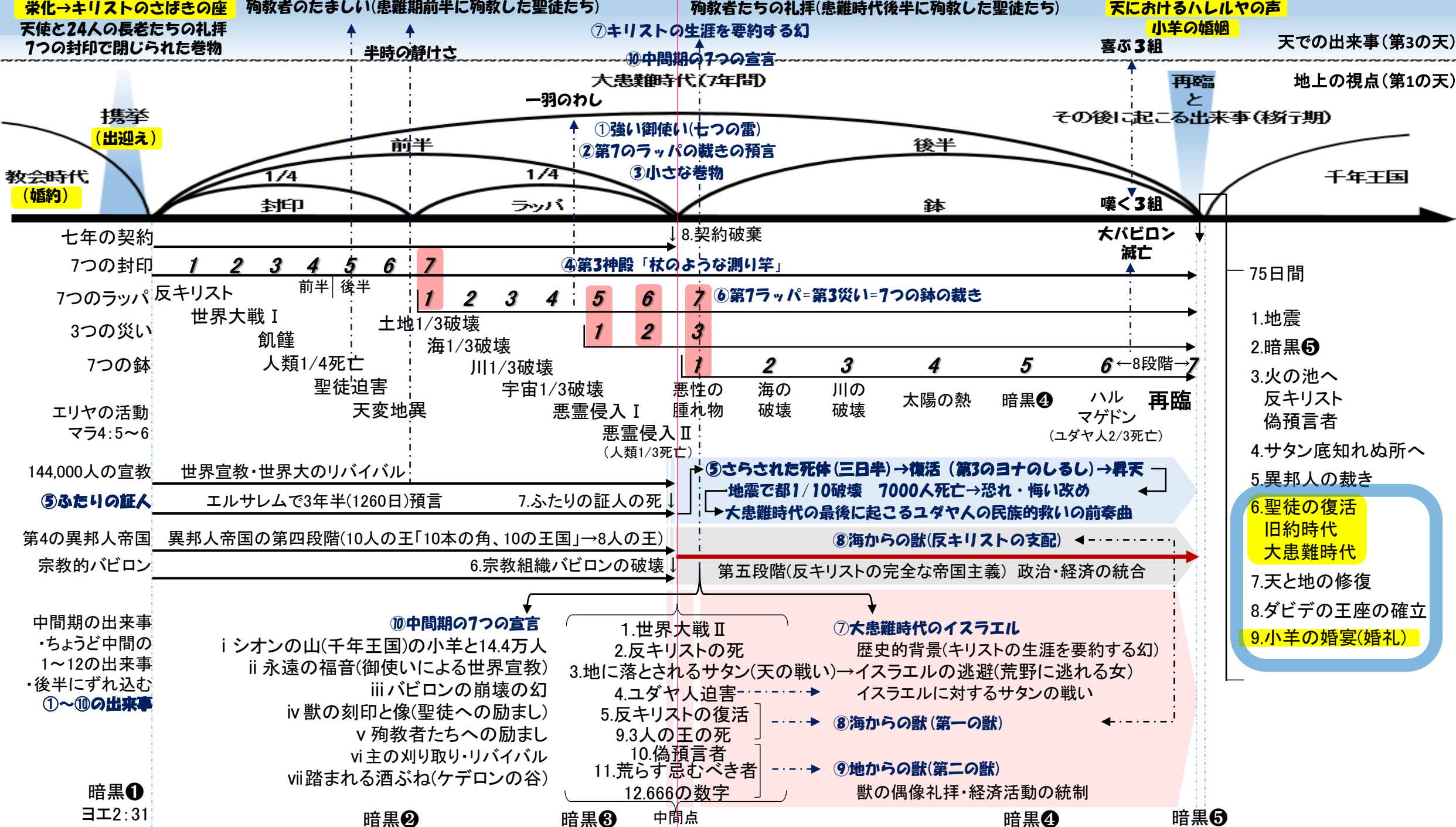
5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

58) 19:9~10 「小羊の婚宴」

19:9 御使いは私に「小羊の婚宴に招かれた者は幸いだ、と書きなさい」と言い、また、「これは神の真実のことばです」と言った。19:10 そこで、私は彼を拝もうとして、その足もとにひれ伏した。すると、彼は私に言った。「いけません。私は、あなたや、イエスのあかしを堅く保っているあなたの兄弟たちと同じしもべです。神を拝みなさい。イエスのあかしは預言の霊です。」



大患難時代の終了から千年王国までの75日間(黙19:1-20:3、ダニ12:11:13)

	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
1	地震	黙16:17~21	マタ24:22~29 ゼカ14:3~5 ヨエ3:14~17
2	暗黒		
3	反キリスト・偽預言者 火の池へ	黙19:20	
4	サタン底知れぬ所へ	黙20:1~3	
5	異邦人の裁き ・「羊」は千年王国へ、「山羊」は殺される		ヨエ3:1~3 マタ25:31~46
6	旧約・大患難時代の聖徒復活	黙20:4	ダニ12:2 イザ26:19
7	天と地の修復		イザ65:17~25
8	ダビデの王座の確立		イザ9:6~7 エレ23:5~6 ルカ1:30~33 エゼ40~41章
9	小羊の婚宴	黙19:9~10	ヨハ3:27~30

旧約時代の聖徒の復活

ダニエル12：2

12：2地のちりの中に眠っている者のうち、多くの者が目をさます。ある者は永遠のいのちに、ある者はそしりと永遠の忌みに。

旧約時代の聖徒の復活

～バプテスマのヨハネ～

ヨハネ3：27～30

3：27ヨハネは答えて言った。「人は、天から与えられるのでなければ、何も受けることはできません。

3：28あなたがたこそ、『私はキリストではなく、その前に遣わされた者である』と私が言ったことの証人です。 3：29花嫁を迎える者は花婿です。そこにいて、

花婿のことばに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それで、私もその喜びで満たされているのです。 3：30あの方は盛んになり私は衰えなければなりません。

黙示録19章

～その2 黙示録のテーマ「キリストの再臨」そのものの記述～

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

天における「ハレルヤ」の声(19:1～5)

56

小羊の婚姻(19:6～8)

57

小羊の婚宴(19:9～10)

58



★ キリストの再臨(19:11～16)

*さばき主キリスト

59

*王の王キリスト

ハルマゲドンの戦い(19:17～21)

60

縛られるサタン(20:1～3)

61

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

59) 19:11~16 「キリストの再臨」

19:11 また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、「忠実また真実」と呼ばれる方であり、義をもってさばきをし、戦いをされる。19:12 その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があって、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。19:13 その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「**神のことば**」と呼ばれた。

19:14 天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。19:15 この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを牧される。この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。19:16 その着物にも、ももにも、「**王の王、主の主**」という名が書かれていた。

天の軍勢

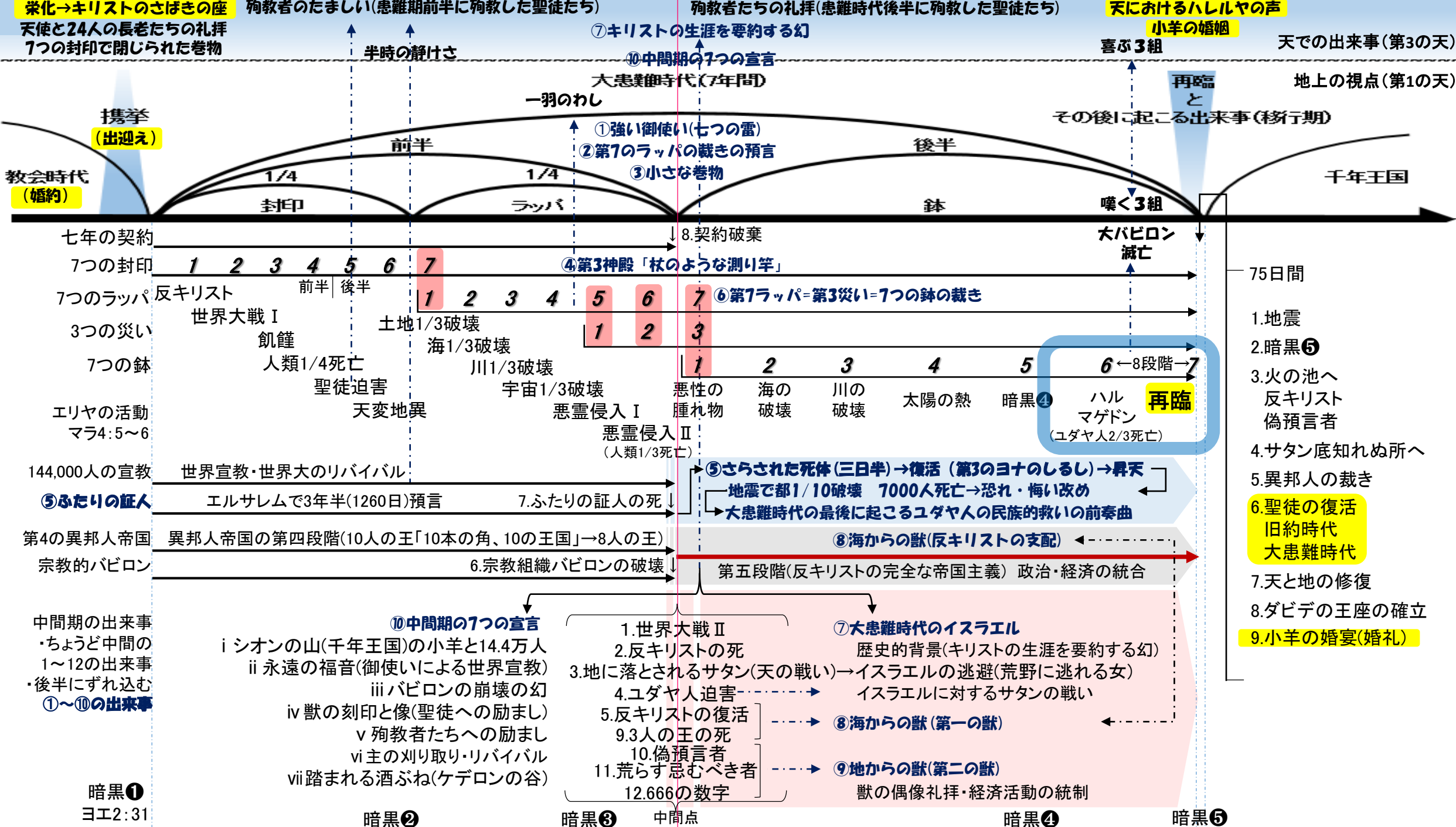
マタ16:27

16:27 人の子は父の栄光を帯びて、御使いたちとともに、やがて来ようとしているのです。その時には、おのおのその行いに応じて報いをします。



教会の聖徒たち

ユダ14~15節

14 アダムから七代目のエノクも、彼らについて預言してこう言っています。「見よ。主は千万の聖徒を引き連れて来られる。15すべての者にさばきを行い、不敬虔な者たちの、神を恐れずに犯した行為のいっさいと、また神を恐れない罪人どもが主に言い逆らった無礼のいっさいとについて、彼らを罪に定めるためである。」





 親バビロン、親・反キリストの軍勢
 反バビロン、反・反キリストの軍勢 (異邦人の信者)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃	
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願	
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雷)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)

イスラエルの
平野(谷)
(ハルマゲドン)

イラク

第6の鉢の裁き
ユーフラテス川(2800km)
が枯れる

ボツラ
(ペトラ)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)	ヨエ3:9~11 詩2
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5	イザ13~14章 エレ50~51章 ゼカ5:5~11
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃		ゼカ12:1~9 ゼカ14:1~2 ゼカ10:4~9 ミカ4:19~5:1
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17	エレ49:13~14 ミカ2:12 ダニ11:36~45 マタ24:15~22 イザ33:12~16
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願		ゼカ12:10 レビ26:39~42 エレ3:12~18 マタ23:37~39 ロマ11:26 ホセ5:15 ホセ6:1~3 イザ53:1~9 イザ64 イザ66 詩79 詩80:1~3, 17
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7	イザ34:1~7 ★イザ63:1~6 ハバ3:1~19 ミカ2:12~13 Iテサ3:13, 4:14 エゼ39:21~29 ★マタ16:27 マタ24:30 使1:9~11 ★ユダ14~15
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20	ヨエ3:12~13
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの香)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)	ゼカ14:3~4a ゼカ14:4b~5 マタ24:29 ヨエ3:14~17

黙示録19章

~その3 ハルマゲドンの戦いとその結果~
~イスラエルの国家的救いの完成と再臨の成就~

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

天における「ハレルヤ」の声(19:1～5) 56

小羊の婚姻(19:6～8) 57

小羊の婚宴(19:9～10) 58

キリストの再臨(19:11～16) 59

★ ハルマゲドンの戦い(19:17～21)

*イスラエルの救い 60

*ハルマゲドンの戦いの結果

縛られるサタン(20:1～3) 61

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

60) 19:17~21 「ハルマゲドンの戦い」

*イスラエルの救い (17~20節)

19:17 また私は、太陽の中にひとりの御使いが立っているのを見た。彼は大声で叫び、中天を飛ぶすべての鳥に言った。「さあ、神の**大宴会**に集まり、19:18 王の肉、千人隊長の肉、勇者の肉、馬とそれに乗る者の肉、すべての自由人と奴隷、小さい者と大きい者の肉を食べよ。」19:19 また私は、獣と地上の王たちとその軍勢が集まり、馬に乗った方とその軍勢と戦いを交えるのを見た。

60) 19:17~21 「ハルマゲドンの戦い」

*ハルマゲドンの戦いの結果 (20~21節)

19:20 すると、獣は捕らえられた。また、獣の前でしるしを行い、それによって獣の刻印を受けた人々と獣の像を拝む人々とを惑わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕らえられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きたまま投げ込まれた。

19:21 残りの者たちも、馬に乗った方の口から出る剣によって殺され、すべての鳥が、彼らの肉を飽きるほどに食べた。

ハルマゲドンの戦い

エゼキエル39：17～29

***大宴会（17～20節）**

39:17 神である主はこう仰せられる。人の子よ。あらゆる種類の鳥と、あらゆる野の獣に言え。集まって来い。わたしがおまえたちのために切り殺した者、イスラエルの山々の上にある多くの切り殺された者に、四方から集まって来い。おまえたちはその肉を食べ、その血を飲め。39:18 勇士たちの肉を食べ、国の君主たちの血を飲め。雄羊、子羊、雄やぎ、雄牛、すべてバシヤンの肥えたものをそうせよ。39:19 わたしがおまえたちのために切り殺したものの脂肪を飽きるほど食べ、その血を酔うほど飲むがよい。39:20 おまえたちはわたしの食卓で、馬や、騎手や、勇士や、すべての戦士に食べ飽きる。――神である主の御告げ――

ハルマゲドンの戦い

エゼキエル39：17～29

*イスラエルの回復（21～29節）

39:21 わたしが諸国の民の間にわたしの栄光を現すとき、諸国の民はみな、わたしが行うわたしのさばきと、わたしが彼らに置くわたしの手とを見る。 39:22 その日の後、イスラエルの家は、わたしが彼らの神、主であることを知ろう。 39:23 諸国の民は、イスラエルの家が、わたしに不信の罪を犯したために咎を得て捕らえ移されたこと、それから、わたしが彼らにわたしの顔を隠し、彼らを敵の手に渡したので、彼らがみな剣に倒れたことを知ろう。 39:24 わたしは、彼らの汚れとそむきの罪に応じて彼らを罰し、わたしの顔を彼らに隠した。

39:25 それゆえ、神である主はこう仰せられる。今わたしはヤコブの繁栄を元どおりにし、イスラエルの全家をあわれむ。これは、わたしの聖なる名のための熱心による。 39:26 彼らは、自分たちの地に安心して住み、彼らを脅かす者がいなくなるとき、わたしに逆らった自分たちの恥とすべての不信の罪との責めを負おう。 39:27 わたしが彼らを国々の民の間から帰らせ、彼らの敵の地から集め、多くの国々が見ている前で、彼らのうちにわたしの聖なることを示すとき、 39:28 彼らは、わたしが彼らの神、主であることを知ろう。わたしは彼らを国々に引いて行ったが、また彼らを彼らの地に集め、そこにひとりも残しておかないようにするからだ。 39:29 わたしは二度とわたしの顔を彼らから隠さず、**わたしの霊をイスラエルの家の上に注ぐ。** ——神である主の御告げ——」

ハルマゲドンの戦い

ゼカリヤ書12:7

【主】は初めに、ユダの天幕を救われる、ダビテの
家の栄えと、エルサレムの住民の栄えとが、ユダ以
上に大きくなるならないためである。

ハルマゲドンの戦い

ゼカリヤ書12：7の意味

- (1) 「ダビテの家」…支配者階級のユダの住民
 - ・ それとエルサレムの住民（支配者階級を含む）が対比
 - ・ 【主】が初めに救うのはユダの住民
- (2) 「ユダの天幕」…ユダの住民が避難所で天幕生活
 - ・ その避難の地は、「ボツラ」（今のペトラ）
- (3) ハルマゲドンの戦いの順番
 - ・ 再臨のメシアは先ずボツラで勝利
 - ・ 次にエルサレムの住民を守られる
 - ・ 結果、エルサレムの住民たちは立ち上がり、勝利します。



← 親バビロン、親・反キリストの軍勢
 ← 反バビロン、反・反キリストの軍勢 (異邦人の信者)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

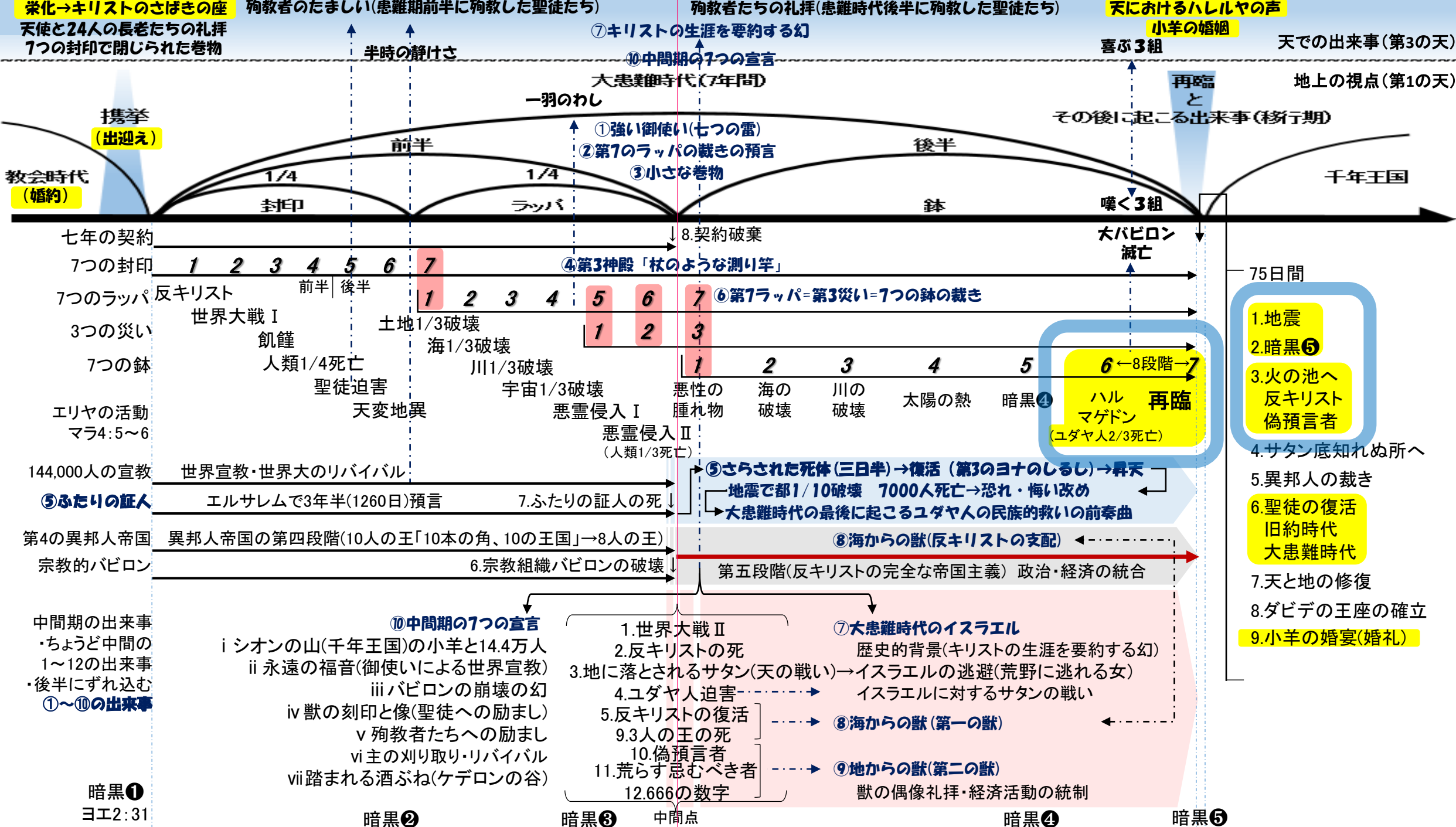
段階	内容	聖句 (黙示録)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯涸と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃	
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願	
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの香)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)

イスラエルの平野(谷)
(ハルマゲドン)

イラク

第6の鉢の裁き
ユーフラテス川(2800km)
が枯れる

ボツラ
(ペトラ)



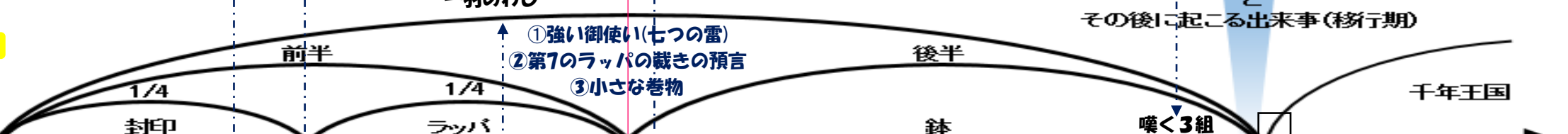
栄化→キリストのさばきの座
天使と24人の長老たちの礼拝
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難前半に殉教した聖徒たち)
半時の静けさ

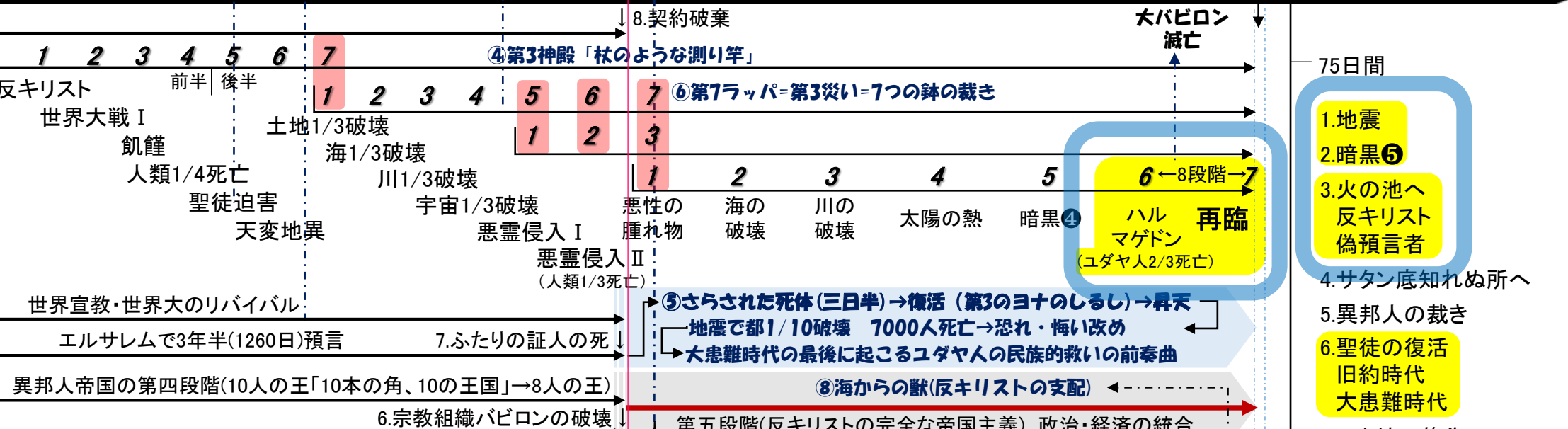
殉教者たちの礼拝(患難後半に殉教した聖徒たち)
⑦キリストの生涯を要約する幻
⑩中間期の7つの宣言

天におけるハレルヤの声
小羊の婚姻
喜び3組
天での出来事(第3の天)

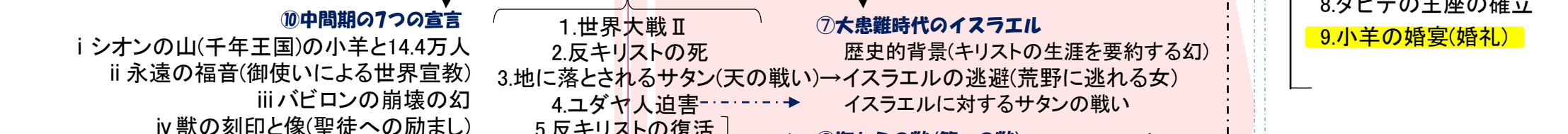
携挙(出迎え)
教会時代(婚約)



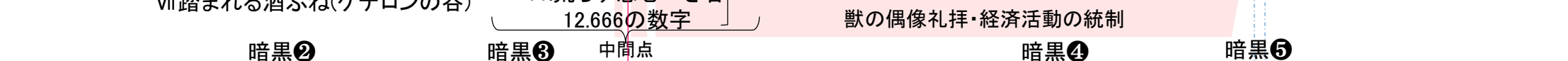
七年の契約
7つの封印
7つのラッパ
3つの災い
7つの鉢
エリヤの活動
マラ4:5~6
144,000人の宣教
⑤ふたりの証人
第4の異邦人帝国
宗教的バビロン



中間期の出来事
・ちょうど中間の1~12の出来事
・後半にずれ込む
①~⑩の出来事



暗黒①
ヨエ2:31



神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯涸と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)	ヨエ3:9~11 詩2
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5	イザ13~14章 エレ50~51章 ゼカ5:5~11
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃		ゼカ12:1~9 ゼカ14:1~2 ゼカ10:4~9 ミカ4:19~5:1
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17	エレ49:13~14 ミカ2:12 ダニ11:36~45 マタ24:15~22 イザ33:12~16
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願		ゼカ12:10 レビ26:39~42 エレ3:12~18 マタ23:37~39 ロマ11:26 ホセ5:15 ホセ6:1~3 イザ53:1~9 イザ64 イザ66 詩79 詩80:1~3, 17
第6段階	キリストの地上再臨 ★ *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7 ★	イザ34:1~7 ★イザ63:1~6 ハバ3:1~19 ミカ2:12~13 Iテサ3:13, 4:14 エゼ39:21~29 ★マタ16:27 マタ24:30 使1:9~11 ★ユダ14~15
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20	ヨエ3:12~13
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの香)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)	ゼカ14:3~4a ゼカ14:4b~5 マタ24:29 ヨエ3:14~17

大患難時代の終了から千年王国までの75日間(黙19:1-20:3、ダニ12:11:13)

	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
1	地震	黙16:17~21	マタ24:22~29 ゼカ14:3~5 ヨエ3:14~17
2	暗黒		
3	反キリスト・偽預言者 火の池へ	黙19:20	
4	サタン底知れぬ所へ	黙20:1~3	
5	異邦人の裁き ・「羊」は千年王国へ、「山羊」は殺される		ヨエ3:1~3 マタ25:31~46
6	旧約・大患難時代の聖徒復活	黙20:4	ダニ12:2 イザ26:19
7	天と地の修復		イザ65:17~25
8	ダビデの王座の確立		イザ9:6~7 エレ23:5~6 ルカ1:30~33 エゼ40~41章
9	小羊の婚宴	黙19:9~10	ヨハ3:27~30

結論

IV. 結論：最終ゴールがイメージできる人の歩みとは

- (1) 私たちは、何のために造られたか？ 私たちの力となるものとは？
 - ① 人生の目的…神を賛美し、礼拝するため、「神の栄光」の誉れとなるため。
 - ② 聖書フォーラム運動の基本理念…わたしたちのABC **AIM (目的)**
 - ③ ティスペンセーションの重要ポイント、**歴史を貫くテーマは「神の栄光」**

- (2) 自分の将来の姿（婚姻、婚宴、祝福と特権）が見えている人とは？
 - ① 最終ゴールに向かい歩みだし、生き方が変化する人。
 - ② 罪赦されたことに安住せず、花嫁にふさわしい聖化を求める人
 - ③ 正しく教会を建て上げる人。賢い建築家（パウロ）の教会建設の秘訣
※自立への道 教会の病理現象(**FATIM**)からの脱却 **伝統主義→変革**
 - ④ 死がもはや恐ろしいものではなく、主の前での清算を楽しみに生きる人。
 - ⑤ 真の成熟と奉仕に向けて、恭順な歩みをはじめめる人。

(3)再臨されるイメージを真剣に受け止めるならば

①自分の人生がどのように変わるか黙想してみましょう。

(4)確かな土台の上に建てられる人生

①聖書フォーラム運動の基本理念…わたしたちのABC **BASIS (土台)**

②自立への道 教会の病理現象(**FATIM**)からの脱却 **内向き志向→外向き志向**

③新しい教えの風に吹きまわされることのない自立したクリスチャンになるためには、聖書という確かな土台に立つ必要がある。
その為には、ユダヤ的視点に立った聖書研究が不可欠。

「日本の靈的覚醒（目覚め）は聖書研究から」を
合言葉に、神の栄光が日本に現わされることを
共に求めていこうではありませんか！

地域教会の存在目的のひとつ ～メシアのみからたである教会を建て上げる～

(1)メシアのみからたとは、普遍的教会

(2)普遍的教会は、地域教会の真の信者から成る

*エペ4：11～16

(3)建て上げるとは、信者たちがみことばを学び
異なった教えに惑わされなくなること。

聖書フォーラム運動の基本理念

「**自立と共生**」がキーワード。

- ・一人ひとりが、自立していること。
- ・お互いの個性を大切に、一緒に成長すること。

私たちのABC

AIM … 聖書フォーラム運動の目的は、「神の栄光」を表し、求めること。
私たちは、この人生を通じ、神を誉め称えるために創られました。

BASIS … 私たちの土台は、ユダヤ的視点により聖書を解釈すること。
当時の人たちが理解した方法で、聖書を字義通りに理解します。

CONCEPT … 自主性を重んじ、経済的・精神的に自立した
お互い同士、小さなグループ同士が、ゆるやかにつながり合います。

自立への道

教会の病理現象 (FATIM) からの脱却

①形式主義(FORMALISM)から自由主義(FREEDOM)へ

1. キリストにある自由
2. 愛を働かせるための自由

②権威主義(AUTHORITARIANISM)から自治(AUTONOMY)へ

1. 自給伝道
2. 自主運営

③伝統主義(TRADITIONALISM)から変革(TRANSFORMATION)へ

1. ユダヤ的聖書解釈
2. 神の国の視点

④内向き志向(INWARD-LOOKING)から外向き志向(OUTWARD-LOOKING)へ

1. キリスト教を世界観としてとらえる。
2. キリスト教を歴史観としてとらえる。

⑤会員志向(MEMBERSHIP-ORIENTED)から流動志向(MIGRATION-ORIENTED)へ

1. 歴史の流れと社会の現状を読む。
2. 自らの動機の再確認。

歴史の支配者である神に、
賛美と栄光と力が永遠にあるように。

黙示録を学ばれる兄弟姉妹に
主の特別な祝福がありますように！

アーメン



第9回講解 おわり

次回の予定

2016 / 10 / 29 (土) in元町

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

縛られるサタン(20:1~3)

61

4. メシア的王国(20:4~6)

千年王国(20:4~6)

62

解き放たれるサタン(20:7~10)

63

5. その後の出来事(20:7~15)

白い御座のさばき(20:11~12)

64

第二の復活と第二の死(20:13~15)

65

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

では学んだことを
分かち合いましょう！

